



有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakiieigo.com/> e-mail: info@chigasakiieigo.com

Book-0後編 発売迫る!

茅ヶ崎方式の「英語教本Book-0」(ZERO からスタート再学習の英語)もうお読みにになりましたか? 手塚治虫を知らない高校生も「鉄腕アトム」は読んだことあるでしょう? 美空ひばりの歌ならなんでも唄えるというファンもいらっしゃるのでは? 「Book-0」はだれでも知っている人物伝をリスニング教材にし、基本のワード、文法の基礎もあわせて学ぶことの出来る、入門者・再学習者用の教本です。茅ヶ崎方式の創始者である松山薫氏の「英語ひとくちばなし」も基礎的な英語のしくみなど詳しく説明されており、興味深く読んでいただけます。上級の方、講師をされている方にも必携! リスニングや文法の基礎を初心にかえってもう一度復習してみたいかでしょうか。8月には「Book-0後編」も出版予定です。乞うご期待!!

「Book-0」監修者、茅ヶ崎方式創始者松山薫から、皆様へのご挨拶です。



< BOOK-0後編の発行に当たって > 松山 薫

茅ヶ崎方式英語会を、NHKの同僚であった高橋義雄さんと一緒に、茅ヶ崎駅前の小さな貸教室で、11人の会員と始めてから間もなく30年になります。この節目の時に当たって、BOOK-0前・後編が完成し、准協力校制度が全国で始まったことに、深い感慨を覚えます。30年かかったにしては、大きな成果とは言えませんが、一粒の麦は、たしかな実を結んだとは言えるのではないかと。そうだとすれば、それを可能にしたものは、天の時、地の利、人の和であったと思います。

この30年は日本が急速にそして本格的に国際化し、世界がグローバル化していく過程にありました。本格的な英語の力が必要になる日がきっと来る、私たちはそう信じて、安易な妥協を排し、「知る人ぞ知る茅ヶ崎方式でよいではないか」と考えて、ひたすら前を向いて歩いてきました。愚直な努力が、どこかで、時代の流れと合致していなければ、英語会はとっくに消えていたでしょう。

30年前、よく地方の時代という言葉が聞かれました。思えば、私たちはこの言葉に触発され、地方の文化を目指して、「湘南の地から全国へ」を合言葉に、全国展開を目指したのでした。今また、地方分権が言われていますが、本当の地方分権を可能にするものは、地方の文化であると思います。茅ヶ崎方式英語会が、地方に根付き、地方の文化の一隅を照らす存在になるならば、英語会に結集した人達の、30年の愚直な努力は、次なる30年へ向けて、本当の民主主義の礎になりうるのではないかと思います。

BOOK-0の著者である5人の皆さんは、私が茅ヶ崎校の代表をしていた頃から、もっとも期待し、大切に育ててきたいわば秘蔵子です。それだけに、私の30年にわたる教材作成のknow-howを余すところ無く伝えようと、この2年間は、通常では考えられないほど厳しく接してきました。あまりの罵詈雑言に、悔し涙を流した人がいたかもしれません。しかし、5人は1人の脱落者も無く、よく耐えてくれました。特に、中心になった小室澄子さんの、粘り強い真摯な努力には、頭の下がる思いがします。「みんなよくやった。俺は安心して目をつぶれるよ」と声をかけたいところですが、戦中派の男は、面と向かっては、こういうことは言えないので、この場を借りて、5人の堅い絆をたたえ、努力をねぎらいたいと思います。

そして、C-0クラスをご存知ですか？

「Book-0」を基本教本に使用する教室用教材、「C-0コース」を使って、リスニング入門クラスを開催している協力校もあります。全国で5月末現在、協力校をふくめ37校が「准協力校」としてC-0コースを開催中です。あなたも、是非参加してみてください。

C-0コースでは「Book-0」を予習しながら、クラス教材としては別の人物のリスニングをします。誰でも知っている人物、でも紹介されているエピソードはご存知ない感動的な事実かもしれません。毎回興味が尽きず、継続して学習することが出来ます。茅ヶ崎方式英語学習法のリスニング教材として、自信をもってお勧めしたい教材です。

以下、C-0クラスを開催している松本市の永山爽さん（准協力校）より、C-0クラスについて感想をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

茅ヶ崎 Book-0, C-0 を今年の1月から中、高生対象に導入しました。

准協力校 長野県松本市 永山 爽

英検2級準備クラス、今年1月に準2級、3級を終えたクラスの3クラスで使ってみました。結果的に英検2級準備クラスではU14,U15あたりで次の段階に進める状態になりました。準2級終了クラスではListeningのついた、とても良い復習になり、英検2級に入る良い準備ができています。英検3級終了クラスは少し難しい所があるが「拒絶反応」が出るほどでもなく、楽しめる教材だと思います。また各ユニットの復習として、前回のユニットのoral QAを入れる事でよりコミュニケーション的なアプローチを取ることができます。

教材で扱っている人物が中高生には馴染みがなく、興味がわからないのではという心配がありました。Articlesが丁度良い長さで大変簡潔に書かれているので、今までに名前を聞いた事がない人物、御木本幸吉、ネルソン・マンデラ、後藤新平などでも大変楽しんで学習してくれました。

Listeningもslow speedが付いているので、教材に馴れない最初は助かります。またListeningはセンテンスが長い時はチャンクまたはもう少し長い塊でCDを止め、日本語に直し、速読の方法で進めていきます。

Shadowingは低学年では最初難しいので、1センテンスずつCDを止め、聞いた後、そのセンテンスを読んでもらい、全文を音読できたら、クラスで音読3回を実行してもらいます（家で音読をしない生徒もいるので）。そして音読が自由に「意味」を良く理解しながら出来るようになった時点でshadowingをしてもらいます。shadowingをする事で発話のリズム、イントネーションが確実に綺麗になります。

Listening後のEXERCISEも新出単語、またuseful expressionsを繰り返し使う様に作られている為、定着が良い様に思います。またListening力はU7~8を学習する頃からしっかりして来て、slow speedからnormal speedに切り替えが出来るようになり、他のlistening教材を使っても顕著に力が付いている事が確認されました。

また、講師用資料が大変丁寧に作られており、「語彙の説明」、「発音」、「EXERCISEの問題点」「一口評伝」、「発話練習」、など授業を学生の程度によって膨らませる事ができ重宝しています。

ユニットのarticleと発話練習を参考にその人物についてまとめてくる宿題を出しています。それを「接続語、句」等をつけセンテンスの並び順をかえ、パラグラフを書く練習に使っています。そして、まとまったものを「暗記」してもらいます。

茅ヶ崎の教材は厳選された基本4000語の「語彙」を使って書かれているので、段階的に必要な「語彙」を学習でき、それがより高度な学習に続けられる事が何よりの魅力です。またListening教材が丁度良い長さで作られており、Listening力を付け、ひいては「発話力」につながる事を思うと、もっと多くの中高生が使ったら良いのにと、思います。TOEIC、TOEFLが大学入学後の目標になっている現在、この教材を使って高校卒業時にはそれがクリア出来るのではないかと思います。



《那覇校》 沖縄県那覇市

代表 戒能 通智

那覇校の戒能です。2000年暮れに関西から沖縄に移り住み、2001年4月より茅ヶ崎方式英語教室を始めました。当初、自宅アパートのリビングで数名の生徒さんと暗中模索の状態でのスタートでした。2002年春より別途教室を借り、C1、C2を中心にご指導を続けました。2007年4月にエルエルラボ(株)という会社形態にして、現在、入門C0から上級C4コースまでの茅ヶ崎方式を中心に、英検、TOEIC、TOEFLの受験対策や大学受験の数学、理科、社会などの指導も行っています。

私のバックグラウンドは理系(化学工学と医科学)ですので、C2のテキストの文章の背景の知識が全くなく、テキスト後半部のNotesに大いに助けられ、勉強させて頂きました。未だに、理系の発想で、concentration と言えば、“集中”という意味と同時に“濃度”という意味が閃きます。エコロジー対策の3Rのうちの一つ“reduce(ゴミの減量)”も音声ノイズ除去のDolby Noise Reduction Systemの事や、Oxidation(酸化)のantonym(反意語)としてのReduction(還元)を、「意味として酸化数を減らすことなので語源は一緒」などと言って、余分なtriviaで、授業中生徒さんを煙に巻いています。

さて、日本の中には、国際都市として英語に触れる機会の多い都市も増えてきていると思いますが、沖縄はアメリカの基地が面積の多くを占める特殊な状況で、英語、アメリカ文化が身近にある地方都市です。これが、沖縄・那覇に教室を構えた一つの理由です。8年間指導を続ける中で、アメリカ基地の中で働きになる方(この方々は日本の準国家公務員のstatus)はもちろん派遣会社を通じての基地内パートタイムの方々もいらして、それぞれ目標をもってスキル・アップを目指しています。

より正確で、内容の濃いコミュニケーションを取るにあたって、茅ヶ崎方式が最短であり、生徒の皆様の強い味方になれると信じています。

茅ヶ崎方式協力校の中でも、異彩を放つ存在になれるような日を目指して、創意工夫しておりますが、最後に私ども那覇校の特長をまとめてみました。もし興味を持って頂ければ、是非、沖縄旅行の際は、弊社にお立ち寄りください。

- ① コーヒー(こだわりの神戸ダンケのバターブレンドコーヒー)を飲みながらのレッスン
- ② 専任のアメリカ人講師(Robert Shay 通称 Bob)の沖縄方言を交えた授業
- ③ いち早く、ITを取り入れた。(コンピュータでソフト“英語漬け”でリスニング・タイピングの自習、iPodでの音声教材の持ち帰り・自宅学習やWikipedia等のInternet上の資料を活用して教材内容の背景説明)
- ④ マイペース(うちな一タイム)で、解るまでじっくり取り組む授業(かつて年間で10Unitしか進まなかったクラスもありました。)

沖縄観光で必見の那覇祭り。毎年10月に行われる大綱引きの英語での紹介をします。このイベントの観覧と同時に那覇校の授業も覗いていただければ幸いです。

Naha Tug of War

The Naha Tug of War is part of the Naha Matsuri, one of 15 festivals that comprise the Dai Ryukyu Matsuri Okoku(Great Festival of the Ryukyu Kingdom). Traditionally, the purpose of the festival was to thank the gods for the harvest, pray for rain, and ward off disease. The Naha Tug of War is listed in the Guinness Book of World Records as the biggest rope-pull event in the world.

京都駅前校-本格的な時事英語学習に向けて

東本願寺の南、まだ昔の京都らしい風情の残る通りにある八つ橋屋さんの 3F に当校は教室を構えています。実は、現教室に落ち着くまでに、諸事情により何度かの移転を繰り返し、教室運営は苦難の連続でした。そんな中で、生徒募集を行い、初めはわずかだった生徒さんが、友人を誘って参加してくださるなど、少しずつではありますが多彩な顔ぶれの生徒さんに出会えるようになりました。

当校の生徒さんの特徴は、京都駅の南に会社が集まるビジネス街が広がっているからでしょうか、例えば貿易関係者、社内翻訳者、などお仕事で英語が必需品となっておられる方が多いというところではないでしょうか。男性の生徒さんも全体の 4 割ほどを占め、この男性の学習者の多さも恐らく？当教室の特徴の一つだともわれます。

ところで、当教室の指導方針としましては、本格的に時事英語を勉強する！！というテーマを掲げています。茅ヶ崎方式としては当たり前のことのように思われるかもしれませんが、いま一度、試験勉強のサポートや、苦手なリスニング強化ツールではなく、国際教養としての時事英語の大切さを理解してもらおうと指導に当たっております。もちろん、TOEIC や英検受験にも素晴らしい効果を発揮し、また苦手なリスニング力改善に大いに役立っていることはいまでもありません！！

ただ、受験勉強に当教室を利用しておられる若い方にも、もう一步踏み込んでもらって『時事英語』の現代社会における重要性に気づいていただいて、今後の学習と人生の糧にしてくださいを祈るばかりです。

同時に、講師の私も、いつも、英語放送にインターネット・英字新聞など幅広い知識に触れられるよう、そして生徒さんたちに還元できるよういつもアンテナを研ぎ澄まし、自己研鑽の日々を送っております。

もう一つのユニークな指導方針としましてはしっかりした英語で世界に、意見を発信できるように、2 ヶ月に 1 回は必ず、時事英語の英作文を生徒さんに作成してもらっており、これが非常に効果があって、E-mail での文書の作成速度が上がったと非常に好評です。

最後になりますが、先日普段の時事英語学習に加えて、京都らしさを生かしたイベントを行いました。ネイティブイングリッシュを前に、たとえば、まねき猫、暖簾それから茶せんには違い棚、欄間といった伝統的で日本にしかないものを英語で説明してもらったのです。生徒の皆さんは四苦八苦でしたが、本当によい体験になったみたいでしたよ！

これからも伝統と革新・古いものと新しいものそれから西洋と東洋が共存している京都で茅ヶ崎方式を地道につづけ、根付かせていければ最高だなあと思う今日この頃です。



あとがき：先にご紹介した茅ヶ崎方式リスニングクラスの入門コース、「Book-0」を基本テキストに使用するC-0クラスに皆さんも参加してみませんか？今回は多くの原稿をお寄せいただきましたが、やむを得ずいくつかを次号に掲載させていただくことになりました。あしからずご了承ください。